

〔2年生〕 稲武野外学習中の
環境学習に向けた取組み

対 象 : 中学校2年生

教 科 : 総合・行事

関連する単元: 理科「植物の生活と種類」

技術・家庭科「生活の中で環境への影響を考えよう」

総合「修学旅行中の環境学習に向けた取組み」

時間数 : 13時間

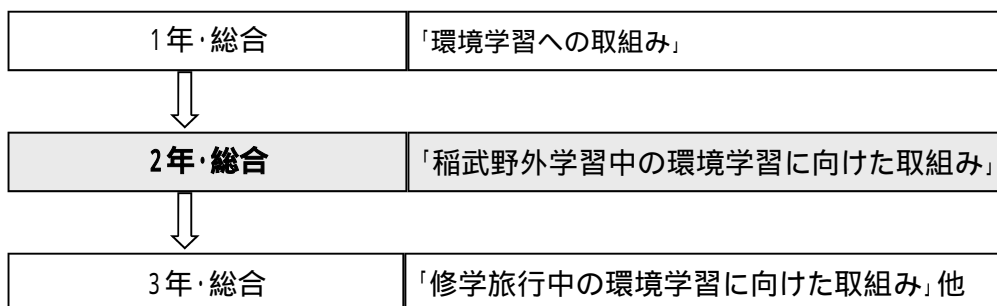
【単元の概要】

学習の背景

入学時より、3年間の行事（1年生：職場訪問、2年生：稲武野外学習、職業体験、3年生：修学旅行）を見通し、環境学習と職業学習を2本柱として総合的な学習の時間を展開してきた。環境学習においては、環境に関する学習や体験学習を通して、人と自然との関わりを学び、人と自然、人間同士の共生について考えることのできる生徒の育成を目指すこととした。

1年生は3年間の中での導入段階として捉え、環境学習への関心を高める時期としてこどもエコクラブに学年として入会すると共に、環境学習の内容や行事を設定した。2、3年生は3年間の中での展開段階として捉え、学年行事に合わせて、2年生を自然環境を主とした環境学習とし、3年生を都市環境を主とした環境学習とした。そして、3年間の集大成として、修学旅行における環境学習を中心とした、学年集会での発表と全校集会での発表を行うこととした。

単元の位置づけ



単元のねらい

- ・身近な自然観察を通して、自然に興味をもたせ、自然観察に必要な注意力を養う。
- ・飯ごう炊さんを取り上げ、環境に負担をかけない調理について考え、実践する。

概要

導入は、校内の植物観察を通して身近な自然に関心をもたせ、自然観察に必要な注意力を養うようにした。また、エコクッキングを実践することで、環境に負荷をかけない調理について学んだ。展開では、実際に稲武野外学習に出かけ、導入で学んだ自然観察やエコクッキングを実践した。まとめでは、野外学習で分かったことを各自でまとめた。

指導計画 (全13時間扱い)

2学期 導入：1 + 2時間 「学校の植物観察、エコクッキング」

- ・学校の中の植物の観察を行う。
- ・ルーペを用いて細部にわたり観察する。
- ・食にかかわるエコライフを考える。
- ・実際に環境にやさしいカレーライス作りを行う。

2学期 展開：9時間 「環境にやさしいカレーライス作り、自然観察」

- ・野外学習で実際にカレーライス作りを行う。
- ・野外学習で自然観察を行う。
- ・自然について専門家の話を聞く。

2学期 まとめ：1時間 「野外学習のまとめ」

- ・野外学習を終えて、自然について分かったことをまとめる。

【環境意識を育成し実践行動へとむすびつけるために工夫した点】

学校や家庭といった身の回りにある場所や暮らしを導入として、環境問題を自分の問題として捉えられるように配慮した。

環境目標を設定させることで、一人一人が環境に配慮した行動を意識できるように工夫した。

体験学習（校外学習）を行うことで、社会の環境への取り組みや、自然と人間の暮らしとの関わりについて気づけるように工夫した。

【単元・授業の流れと活動目標】

学校の中の植物を観察しよう / エコクッキングをしよう (3時間)

学習指導要領
の対応

〔活動目標〕身近な自然に関心をもたせたり、環境に負荷をかけない調理を
実践できるようにする。

< 活動内容 >

< 指導、留意点 >

学校の中の植物を観察しよう (1時間)

- ・「葉で見わかる樹木 (発行: 小学館)」
を活用した校内樹木調べ (資料)
- ・ルーペを用いた植物観察

ねらい: 身近な自然観察を通して、
自然に関心をもたせ、自然
観察に必要な注意力を養う。
また、理科の授業で身に
つけた、ルーペの取り扱い
や植物観察について復習し、
定着をはかる。

- ・西三河自然観察会の方の指導のもと、
稲武野外学習で実際に使用する資料を
用いて授業を行う。
- ・1年生の理科の授業の復習と学習
内容の定着を兼ねて、細部にわたり
植物を観察することの重要性を理解
させる。

理科 P.63

総合 P.38

エコクッキングをしよう (2時間)

- ・食にかかわるエコライフを考え、
発表する。(資料)
- ・自然の中で行うカレーライス作りで
考えられる環境にやさしい調理を
考えたり、学んだりする。
- ・考えたり、学んだ方法を実際に試して、
学校の調理室でカレーライスを作る。

ねらい: 稲武野外学習で行う飯ごう
炊さんを取り上げ、環境に
負担をかけない調理につい
て考え、実際に学校の調理室で
実践する。

- ・これまでの環境学習内容や、普段
から家庭で行われている取り組みを
思い出しながら、様々な食にかかわる
場面におけるエコ実践を考える。
- ・これまでの野外調理の経験や、調理
実習の経験、前時のエコ実践を参考
に、自然の中で行う環境にやさしい
カレーライス作りを計画する。
- ・考えた自然の中で行う環境にやさしい
カレーライス作りを実施する。

技術・家庭
P.53

総合 P.35

技術・家庭
P.68

導
入
(3時間)

環境にやさしいカレーライス作り/自然観察(9時間)

〔活動目標〕 校外学習において、今まで学んだエコクッキングや自然観察の手法を実践する。

<活動内容>

<指導、留意点>

自然の中で環境にやさしいカレーライス作りに挑戦しよう(4時間)
 稲武野外学習の飯ごう炊さんにおいて、学校で学び、考え、試した環境にやさしい調理方法を取り入れて、カレーライス作りを行う。

ハイキングしながら自然観察をしよう(4時間)
 稲武野外学習において、1時間程度の散策コースを、西三河自然観察会のボランティアガイドの方と1班10名程度の生徒が共に自然観察を行いながら散策する。

自然についてお話を聞こう(1時間)
 稲武野外学習での、自然観察ハイキングの後、西三河自然観察会の方から、モグラの剥製を用いたり、ハイキング中に集めた木の実や松かさなどを用いたりして、自然について説明を受ける。また、自然の中における人間についてのお話も聞く。

- ・ 不要なカード(テレホンカード)を用いて皿についたカレーのルーを取り除くなど、学校で試した自然の中で行う環境にやさしいカレーライス作りを実施する。

- ・ 自然観察の際には、学校で使用した「葉で見わける樹木」をカード化したもの、デジタルカメラ、メガジャーを準備し、学習カード(西三河自然観察会作成)に書かれた(事前に下調べしておいた)樹木や自然物を探しながら散策する。

野外学習のまとめ(1時間)

〔活動目標〕 野外学習で自然についてわかったことをまとめる。

<活動内容>

<指導、留意点>

稲武野外学習を終えて、自然について分かったことをまとめよう(1時間)
 しおりにあるまとめのページに、分かったこと、考えさせられたことを、各自でまとめる。

学習の効果・児童の変化について

生徒の変容

自然の中で行った稲武野外学習では、事前に学習した環境に優しい調理方法を積極的に試し、すべての生徒が実践していた。また、自然観察を兼ねたハイキングでは、事前の自然観察学習もあり、注意深く自然観察を行うことができ、多くの発見をしていた。

また、自然の様子を観察することで、実際には姿を見ることができなかった動物たちの生活まで考えを巡らせ、人と自然との関わりや、自然の中における人間のあり方について、考えを深めることができた。


生徒の作文より～一部抜粋～

- ・この1年を通し、環境問題についていろいろなことを知ることができた。地球の環境が今どのような状態か、このままだと何が起きるか、自分たちはどのように環境を守っていけばよいのかなど、たくさんのことを学べた。環境を守るために、今実践していることをこれからも続けていこうと思う。


〔資料 〕


総合的な学習の時間 「樹木を見分けよう」

A. 北校舎東土間（1・2年げた箱）東側にある木



7月桃色の花が咲く。花の時期は過ぎてしまった



葉の形							
つき方	互生			対生			
幹の形	樹皮種			色種			
落葉 常緑	落葉			常緑			
木の名称							

ユー
氏名

〔資料〕

2年生 総合学習 環境に優しい食生活

食べることに関わるエネルギー

今日は、環境学習として、環境に優しい食生活と題し、「食べることに関わるエネルギー」について考えてみます。

では、早速、チームに分かれて考えてみましょう。（15個以上考えよう！）

買い物の時の工夫	冷蔵庫の使い方の工夫
調理する時の工夫	片付けの工夫
ごみ捨ての工夫	感想・分かったこと・考えたこと

環境問題は、地球に住む生き物全て（人間以外の生き物。例：植物・動物など）にとって重大な問題です。そして、一人一人が意識して取り組まなければ、改善の見込みがない問題でもあります。

さあ、考えた環境の優しい食生活の工夫を家庭にも紹介してあげてね。

2年 組 番 名前（

）